

～かなみっ子のすこやかな成長、質の高い乳幼児教育と保育を目指して～



# つながる

函南町幼児教育センターだより18号



令和8年2月発行

連絡先 学校教育課内

幼児教育センター 979-8121

小学1年生の保護者を対象としたアンケート調査によると、約3割の方が「子どもに登校しぶりが見られた」と回答しています。その主な理由として、「新しい環境（学校のルールや日課）への戸惑い」「友人関係の構築における不安」が挙げられています。「登校しぶり」は必ずしも長期的な「不登校」に直結するものではなく、多くの場合、子どもが新しい社会に適応しようと葛藤している一時的なサインであり、成長過程の一つとして捉えることができます。園の生活から小学校生活へ変わっていく段階で、子どもが環境に慣れていくための支援が必要になります。



東中から見た富士山

そこで学校では1年生の学校生活スタート時に、「なかよしタイム」「のびのびタイム」「ぐんぐんタイム」を各小学校が取り入れ、遊び中心の生活から学習中心の生活へゆるやかに移行できるよう配慮しています。1年生の保護者アンケートから、ゆるやかなスタートの取組を「よく知っている、知っている」と答えた保護者は66.7%、取組に「大変満足している、満足している」と答えた保護者は92.2%で、保護者の間でゆるやかなスタートの取組は認知され好評であることがわかりました。慌てず、焦らず、せかさないうるやかなスタートによって、1年生も学校生活に上手に馴染めたようで、各小学校を訪問すると1年生が学びや遊びを通してのびのびと学校生活を送っている様子が見られました。

来年度の入学に向け、年長児が4月からの学校生活に期待を持って踏み出せるよう、各小学校では、幼児期の学びと小学校での学習をスムーズにつなぐ「幼保小連携（架け橋期）」の視点を大切にしています。1年生が年長児を招待する交流会では、園での遊びの要素を取り入れた授業体験や、学校探検など、園児が「小学校は楽しいところだ」と実感できる工夫を凝らした活動が行われています。小学校への入学は、異なる園から集まる子どもたちが出会う場でもあります。また、園と小学校の縦のつながりだけでなく、園と園の横のつながりも深め、入学後友達づくりがしやすくなるための活動も行われているので合わせて紹介します。

## 東小学校交流会 令和8年1月30日（金）

1年生による学校生活の紹介から始まりました。1年生がクラスごと分担を決めて、学校の生活やルールについて説明をしてくれました。その後、1年生と年長児がペアを組み、ビンゴの用紙を持ち、1年生が考えた「学校生活に関するクイズ」を解きながらビンゴを目指して校内を歩き回りました。歩き回る間に会話がはずみ、小学生と年長児が打ち解け、楽しく校内を巡っていました。



## 西小学校交流会 令和8年1月30日(金)

体育館にはいくつもの遊びのブース(縄跳び、跳び箱、楽器、あやとりなど)が用意されて

こうやるんだよ。



いました。年長児は園での遊びのように自分が選んだブースへ行き遊んでいました。1年生は自分が運営するブースに来てもらいたくて大きな声で呼び込みをしており、まるで学校行事のお祭りのようでした。また、自分のブースに遊びに来た園児に対し、丁寧に遊び方を教えていました。

こんな勉強をするよ。

上手に音が出せるかな。



体育館での遊びの後、小学生と園児がペアになり、1年生の教室を見に行きました。1年生は自分の席に年長児を座らせ、道具箱の中身を見せて何が入っているか説明したり、教科書を開いてどんな勉強をするか説明したり、鍵盤ハーモニカやタブレットを年長児に体験させたりしていました。年長児は4月からの学校生活に思いをはせながら、体育館への集合時間を忘れるくらい夢中になって取り組んでいました。

## 丹那小学校交流会 令和8年2月2日(月)

1年生の学校紹介(学校行事や教科の説明)から始まりました。1年生は3人しかいませんが、一人一人がしっかりと自分の分担をこなしていました。少ない人数のため多くの経験を積めたことが3人の1年生を大きく成長させてくれたように感じました。説明の後、図工の時間に1年生が作成したすごろくで交流を深めました。3人の1年生がしっかりとリードしていました。始めは表情も硬かった年長児ですが、小学生とも打ち解け笑顔が見られるようになってきました。帰る時には、参加した年長児も「楽しかった」と言ってお別れしていました。



図工の時間に作ったすごろくをいっしょにやろう。



ここに止まると1回休みだよ。

## 桑村小学校交流会

令和8年2月5日(木)

1年生や年長児の欠席があり、少人数での交流会となりましたが、1年生が欠席者の分まで元気に

うんとこしょ、どっこいしょ。抜けないねー。

じゃんけん列車一番になるぞ!



きれいに貼れたね。



会を進行していました。交流会は、「大きなかぶ」の劇から始まりました。「大きなかぶ」は園でも劇をすることもあるので、年長児は楽しく見ていました。学校紹介では、毎日背負って登校するランドセルの中身や、学校行事(お茶摘み体験、原生林探検、運動会)や、授業の説明をしてくれました。生活科の授業内容で「どんぐり拾い」「校外探検」「虫探し」を行うと聞いて、園でもやっていることなので少し安心できたようです。学校紹介の最後には、ダンス、合奏、歌を披露してくれました。1年生が大きく成長していたので、年長児から見たらとても大きな存在に見えたと思います。紹介の後にはじゃんけん列車で交流を図りました。この時には、年長児も笑顔が見られるようになり、和やかな雰囲気でした。最後に入學式で掲示する桜の木の貼り絵を、1年生と一緒にしました。作業中に1年生からは、「学校の一番すごいところ

は、1週間で担任の先生が変わるところだよ。」と、チーム担任制の話も出ていました。1年生にチーム担任制について聞いたところ「いろいろな先生と話ができるのでうれしい。」と話していました。

### 函南小学校交流会 令和8年2月9日(月)

交流会を準備・計画してくれていた1年生に、体調不良者が多く出たので、急きょ6年生が1年生に代わって対応をしてくれました。

初めに年長児とペアを組み校内見学をしました。年長児の歩調に合わせてゆっくり歩きながら

「ここは〇〇教室だよ。」と丁寧に説明をしていました。校内見学後は、6年生の各クラスに分かれ、6年生が絵本の読み聞かせをしてくれました。「大きなかぶ」「ぐりとぐら」など、園児にも馴染みのある絵本だったので、年長児は興味をもって聞いていました。交流会の終わりは、1年生から預ったプレゼントを6年生から受け取り、年長児はとてもうれしそうでした。

急な代役にも関わらず、今まで準備してきたような落ち着いた対応や、次の活動との空いた時間を年長児が飽きないように自分たちで考え工夫していたところは、「さすが6年生だな」と感心しました。

「大きなかぶ」  
を読みます。



次は2階の図書  
室へ行くよ。

### 若葉保育園の函小訪問 令和8年1月15日

若葉保育園の年長児が函南小を訪問しました。

「校舎は大きいな」「ここから教室に行くのか」など興味津々で校舎を見ていました。また、小学校の遊具(滑り台・鉄棒・うんてい)を体験し、園の物とは大きさが違うことに驚いていました。また、訪問時が

ちょうど小学校の中休みの時間と重なったこともあり、小学生と触れ合うこともできました。小学生の中には卒園児がいて、「小学校は楽しいよ。待っているよ」と声を掛けてくれました。「小学校は楽しい」という話を聞いて、入学が楽しみになったようです。その後は第二グラウンドを借りて、凧あげを楽しんでから園に帰りました。

小学校は楽しいよ。  
待っているよ。



### 4園の交流会 令和8年1月19日(月)

みのり幼稚園、間宮幼稚園、西部保育園、はなみずき保育園の4園には、西小へ入学する園児がいます。入学前に交流会を開くことで顔見知りになり、入学後の人間関係づくりがスムーズにできるようにするため、ドッジボールによる交流会を西小のグラウンドを借りて行いました。各園とも、この日のために練習をしてきており、白熱した試合が展開されました。また、小学校の中休みの時間と重なり、グラウンドへ出てきた卒園児を含む多くの小学生が応援していました。トーナメント方式で行われた試合は、みのり幼稚園が優勝しました。試合後には、改築工事が終わった校舎内や、授業の様子を見学しました。

「みんながんばれ!」  
小学生が応援してくれました。



## 東中との交流

令和8年1月22日(木)

東中学校では3年生家庭科の保育実習の一環として、みのり幼稚園とはなみずき保育園の年長児を招いて交流を行いました。(園児が自分で選び、決める場(折り紙、紙飛行機、ボーリングなど)が用意されており、園児は好きな遊びを楽しみました。中でも、新聞紙で作ったマントを身に着け、新聞紙を丸めた剣を持っての戦いごっこは、中学生が切れ役となって倒れると園児は大喜び、とても盛り上がっていました。交流前には、校舎内の見学をしました。廊下から教室の中を覗いて



中学生はこんな勉強をするんだ!



やられたあ〜



校長室は広いな!

いると、優しい中学生が園児を教室の中に招き入れてくれました。授業の内容は分かりませんが、授業の雰囲気を味わうことができました。また、校長先生が体育館に案内してくれ、広い体育館を思い切り走り回り大喜びでした。見学の最後には、中学生でも普段あまり入ることのない校長室に入れてもらい、ソファーに座って記念写真を撮るなど貴重な体験もできました。

一番上まで登れたよ!

## 西部保育園の東小訪問

令和8年2月12日(木)

「小学校ってどんなところ?」「小学校で何をするのかな?」「小学校って楽しいのかな?」と不安に思っている年長児が多くいます。そのような不安を解消するために、各園では年長児が小学校訪問を行っています。小学校も校舎や授業見学等快く受け入れています。

長い滑り台だあ〜!



西部保育園年長児が東小を訪問しました。東小の到着が中休みの時間と重なったため、小学生と一緒に遊んでくれました。年長児は田方で一番長い滑り台が気に入り、何度も滑り降りていました。その後、1年生の授業を参観しました。1組は、お店屋さんのメニューを考える国語

おもしろそうな本がいっぱいだ!



みんな、何か知らない。



の授業でした。参観していた年長児は、1年生からメニューのアイデアを求められ、知っているものを一生懸命に答えていました。2組は音楽の授業で、年長児も聞いたことのある曲だったので一緒に歌っていました。3組は算数の授業でした。「2桁-1桁」の計算でしたが、年長児も一緒になって考えていました。最後は、図書

室の見学をさせていただきました。司書の先生に説明をしてもらいながら、たくさんの本の中から興味のある本を探していました。

年長児は授業を見たり遊具で遊んだりしたことで、4月の入学が楽しみになったようです。

